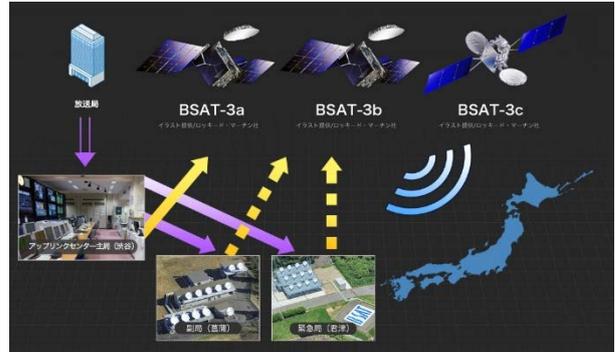


## 《2016 年度第一回施設見学会・第二回講演会報告》

日本衛星ビジネス協会は、平成 28 年 6 月 28 日（火）、NHK 放送センターにて、今年度第一回施設見学会・第二回講演会を開催しました。当日は、学生 6 名を含む総勢約 40 名が参加し、4K・8K スーパーハイビジョン放送など、最新の放送技術などに関する知識を深めることができました。

NHK は国内放送として、総合テレビ、E テレ、BS1、BS プレミアム、ラジオ第 1・第 2、FM の 7 メディア、国際放送として NHK ワールド TV、NHK ワールド・プレミアム、NHK ワールド・ラジオ日本、海外向けインターネットサービスとして NHK ワールド・オンラインを毎日放送しています。その全国ネットワーク向けの番組の大半がここ東京・渋谷の NHK 放送センターで制作・発信されています。



また、衛星放送については、放送センター内に B-SAT アップリンクセンターがあり、民放も含めて BS デジタル放送の全てのチャンネルをここで集約し、B-SAT の渋谷主局または荻窪副局（及び君津緊急局）から東経 110 度の静止軌道上に位置する 3 機の BSAT-3 衛星にアップリンクしています。

まず、施設見学会に先立ち、B-SAT 殿から「4K・8K 放送に向けた B-SAT の取組み」、NHK 殿から「8K スーパーハイビジョン放送開始に向けた取組み」に関するご講演を頂きました。



B-SAT 殿ご講演風景



NHK 殿ご講演風景

B-SAT 殿のご講演を通じ、今までの衛星放送との関わり合い、現行の衛星放送運用体制、さらには 4K・8K 放送の送信機能を強化した BSAT-4a 衛星の調達計画及び 4K・8K 実験試験局、4K・8K 試験放送と実用放送に向けた取組みなどをご紹介頂きました。

NHK 殿からは、8K スーパーハイビジョンの特徴である臨場感（22.2 マルチチャンネル音響設備との組合せ）、実物感、広視野及び解像度などとともに、8K カメラの発展、フレキシブル OLED など将来の 8K ディスプレイ技術及び今後期待される 8K の医療や教育などの分野における利活用についてご講演頂きました。ご講演の中で、8K 映像は、これまでのテレビ映像よりも立体感を感じられる特長があるが、この立体感は、両目よりも片目で見たとの方がより感じることもあるとの経験談もご紹介頂き、参加者一同、早速、NHK 放送センター正面玄関の 8K 映像にて驚きの実感を体験することができました。また、スーパ

ーハイビジョン試験放送については、B-SAT 殿の衛星基幹放送試験局を利用し、BS17chにより、8月1日から開始するとの紹介がありました。リオ五輪の中継も予定されているこの試験放送の視聴については、各NHK放送局に特設されたパブリックビューイング会場で体験可能とのことでした。

続いて実施された施設見学会では、NHK放送センター内にあるスーパーハイビジョン送出設備やB-SATアップリンクセンター及びスーパーハイビジョン試験放送で用いるアップリンク送信設備など、普段目に触れることのできない様々な施設について、参加者からの多くの質問へのご回答を含め、専門家の方々から丁寧、且つ、分かりやすいご説明を頂きました。



BSATアップリンクセンター (B-SAT HP より)



全局 EPG 用 SI 集配信システム  
(B-SAT HP より)

EPG : Electronic Program Guide、SI : Service Information

今回の施設見学会及び講演を通じ、8K映像を実感させて頂くとともに、同実現に向けたNHK殿及びB-SAT殿の様々な取り組みを知り、協会としても非常にいい刺激を受けることができ、大変充実した施設見学会及び講演会となりました。

従来、放送技術はオリンピックを機に進化しているとお話がありましたが、今後は、4K・8Kロードマップに従い、今年8月1日の試験放送開始、2018年の実用放送開始、さらには2020年の本格普及を目標とされているとのことでした。2020年の東京オリンピック・パラリンピックでは、世界最高の舞台上で躍動するアスリート達の姿を是非とも、NHK殿、B-SAT殿の開発された4K・8Kの迫力のある映像で楽しみたいと考えます。

ご多忙の中、施設見学会・講演会を受け入れて頂きましたNHK放送センター及びB-SATの皆様、本当にありがとうございました。